

DocAve[®] Online

ver3 SP3

リリースノート

リリース日: 2014 年 2 月 18 日

新機能と強化点

- Microsoft Exchange Online バックアップ & リストアの最小単位リストア機能では、メールを .pst ファイル形式でリストアすることが可能になりました。
***注意:** この機能を使用するには、ユーザー所有の構成済みストレージ(Azure、S3、FTP/SFT、Box、SkyDrive を含む) が必要となります。
- 最小単位リストアでは、最小単位バックアップ データをストレージ ポリシーで設定した場所へリストアできるため、Office 365 が非アクティブ状態の場合でもビジネスクリティカルなドキュメントの作業を続行することが可能になりました。
- 管理センターで Policy Enforcer 機能に対応しました。これにより、ポリシーから外れた編集が機能や権限、設定に対して行われた場合でも、素早く対応することが可能になりました。Policy Enforcer は SharePoint Online 環境で継続的な監視・対処を実行することにより、環境内で発生するすべてのアクションおよび変更が組織ごとに定義したガバナンス ポリシーの下で行われているかどうかを確認します。
- コンテンツ マネージャー、レプリケーター、最小単位バックアップ & リストアでは、リスト ビューのバックアップおよびリストアを正常に実行することが可能になりました。
- レポート ポイントでは、選択した SharePoint Online 環境のサイト コレクション、サイトまたはリストに関する構成の詳細・統計を表示した構成レポートを生成することができます。
- 監査データベース内のデータが既定サイズの 80 %を超えた場合やデータベースに空き容量が無い場合は、DocAve Online チームからメールで通知を送信します。詳細については、[DocAve Online ユーザーガイド](#) (付録 C - 機能制限) を参照してください。
- 最小単位バックアップでは、時間単位のスケジュール設定で増分バックアップ ジョブを実行できるようになりました。
- 最小単位リストアでは、バックアップ済みのアプリを SharePoint Online サイト コレクションへリストアすることが可能になりました。
- **アカウント マネージャー** 内で、ユーザー管理 (AvePoint Online Services サイト) にて他のユーザーの招待・削除・有効化・無効化などの実行が可能というメッセージが追加されました。**個人設定** 内に、パスワードのリセット画面 (AvePoint Online Services サイト) にてアカウント パスワードのリセットが可能というメッセージが追加されました。詳細については、[DocAve Online ユーザーガイド](#) (付録 C - 機能制限) を参照してください。

- ユーザーおよびライセンス管理は、AvePoint Online Services 環境内で総括して管理できるようになりました。
- リスト、フォルダー、ドキュメント、アイテム、アイテム バージョンを削除するとごみ箱へ移動し、一定期間内は復元が可能となります。ただし、5,000 を超えるアイテム数がリスト配下に存在する場合は、ごみ箱へは移動せず完全に削除されます。
- DocAve Online は本バージョンより AvePoint Online Services (AOS) へ統合されました。これにより、ユーザーの招待・削除・アクティブ化・非アクティブ化などの機能は AOS 上で管理されます。詳細については、[AvePoint Online Services ユーザーガイド \(英語\)](#) を参照してください。
- レポート ポイントでは監査プルーニング機能に対応しているため、監査データベースから取得した監査データを削除し、空き容量を確保することができます。詳細については、[DocAve Online ユーザーガイド \(付録 C – 機能制限\)](#) を参照してください。
- 監査データベースの使用状況が全容量の 80 %を超えたユーザーに対し、メールによる通知が送信されます。詳細については、[DocAve Online ユーザーガイド \(付録 C – 機能制限\)](#) を参照してください。
- 詳細部分にジョブ ID を追加できると同時に、サポート ケースの処理中でも添付ファイルをアップロードすることが可能になりました (**サポートの招待** インターフェイスを使用)。
- 日本語で DocAve Online を使用し、**管理センター** > **管理** > **新規** の順でサイト コレクションを作成すると、サイト コレクションのテンプレートに対する既定の言語は日本語になります。
- DocAve Online の **フィードバックの送信** インターフェイスで、複数の製品を選択することができるようになりました。

既知の問題

- 構成レポートで SkyDrive Pro クォータ データには対応していないため、DocAve Online 環境では SkyDrive Pro クォータ データの情報を取得できません。

通知

本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright © 2014 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10-18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。

登録商標

AvePoint[®]、DocAve[®]、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社
〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10-18
京急第一ビル 11 階